

留学体験記

台湾 文藻外国語大学 交換留学生

留学期間 2022 年 9 月～2023 年 8 月

2208001 ゴ イーセイ

私は高校の時に、日本のゲームとアニメを好きになった。またこどもの頃から父とよく一緒に釣りに行って、釣り方法と使っている釣り具はほぼ日本由来のものだ。ゲームとアニメでわからないことが読めるようになると、日本に行って釣りをしてみたいと思うようになった。その後文藻外国語大学の日本語学科に入った。三年間文藻で日本語を勉強して、交換留学を申し込んで志学館大学に来た。

日本に来て一番慣れなかった部分は交通手段と授業の時間だ。高雄に住んでいた時、どこでもオートバイで行ける。日本に来てから、路面電車以外徒歩でしか行けない。台湾にいた時、歩いて 5 分以上の場所はオートバイで行く。しかし、鹿児島では市電停から大学まで歩いて 15 分ぐらいかかる。また文藻の授業は 50 分なので、日本の 90 分の授業は長いと感じた。最初は授業の後半に集中力がなくなってしまったが、今はもう慣れた。

日本に来てから、大学で日本語を学んで、いろんなイベントにも参加した。桜島の花火大会でおいしい屋台料理を食べたり、おはら祭りでみんなと一緒に踊ったり、JONIK と一緒に動物園に行ったりしたこと全部大切な思い出だ。日本語の授業は教科書を学ぶだけではなく、鹿児島市のいろいろなところへ見学しにいった。

休みの日に、ずっと楽しみにしていた釣りにいった。鹿児島市内の海釣り公園で台湾では釣ったことのない魚が釣れた。船に乗って、錦江湾に楽しみだった釣りに行った。県外旅行もよく行った。九州は自然な景色が多く、温泉もいっぱいある。すごくいい旅行先だと思う、交換留学が終わったら、また家族と旅行に来たい。

この一年間の日本留学で、友だちができ、いろんなことも体験し、自分の日本語も前より上手になった。私はいろいろな国に住んだことがあるが、日本は今までで一番住みやすいところだと思う。日本で学んだことを生かして、将来仕事をし、旅行にも行って、楽しい生活を過ごしたい。日本に留学して本当に良かった。

